一般会計予算 総額で34億8,300万円

49年度の予算案が成立 3月定例市議会

生活と健康守る市民本位のまちづくりにスタート

十八日間を会期に開かれた三月定例市議会は、市民福祉をいっぱいに盛った四十九年度予算案などの審議をはじめ、空席となっていた市助役に、斎藤富雄氏を選任して去る三月二十九日に閉会しました。

今議会では、追加議案などもあって全部で四十九件の議案が審議され、いずれも原案のとおり認められました。

以下主なものについてお知らせします。

市道舗装はさらに推進

大きく力を入れる生活環境の整備

市民福祉予算もいっぱいに

一般会計予算

一般会計の四十九年度予算は、総額で三十四億八千三百万円となりました。この予算額は、昨年同期と比べると、七億三千万円多く二六・五%も増えた大型予算です。

費目別にみた大きな予算では、お年寄りと子どもの福祉をさらに増進するための教育費、民生費予算に、十四億六千三百二十四万四千円と、予算総額の四〇%以上も占める市民福祉予算が計画されました。

この中には――

□ 小学校のマンモス化を解消して、教育環境をよくするための新設小学校用地の買収

□ 小・中学生に完全給食を実施する給食センターの建設

□ 市民会館周辺に五十メートルプールとテニスコートの建設

□ 敬老金の支給を、八十歳から七十五歳までに引き下げて、対象者を広げたこと

□ 七十歳以上のお年寄りの医療費を市が負担する費用

□ 養護老人や身障者などに扶助する費用

□ 交通遺児以外の遺児にも遺児手当を支給すること

□ 保育所の新設やその整備充実を進めること

――などキメ細かに配慮されました。

教育費、民生費に次いで土木費が多いものとなりました。

□ 市道舗装をさらに前進させるため、今年度からも新しい計画をたてて舗装に力を入れること

□ 道路の改良、整備を行なうこと

□ 山先橋を年度内に掛け替えすること

□ 現在の木造市営住宅を、近代住宅に建て替えをすすめること

□ 秋葉湖周辺の自然公園化をすすめること

このほかでは――

□ 療養費の多くかかったかたに、その費用を負担する高額療養制度を新しく実施すること

□ 乳児医療の無料化対象範囲を広げたこと

□ 農・商・工業者の経営を助けるための融資枠の拡大

□ 農道の整備、舗装

□ 花木、農業振興対策のための補助

□ 秋葉山遊歩道の延長と公園内の整備

□ 消火栓、防火水そうの新設と市民負担額の解消

□ 市道舗装、消雪施設の工事のさいの市民負担額の解消

□ 火葬料、し尿投入手数料の無料化

――などが今年度予算にみる新しい主なもので、市民福祉、生活環境の整備を最優先に考えられた予算が編成されました。

市助役に――斎藤富雄氏を選任

4月から就任した斎藤富雄市助役

伊藤定平氏前助役の突然の死去で、三月以来空席となっていた市助役に、斎藤富雄氏（前企画室長・四十二歳・飯柳）が選任されました。

斎藤市助役は、三月いっぱいをもって市職員を辞職、四月一日付けで助役に就任しました。

なお、人権よう護委員の推せんには、次のかたがたが同意されました。

南雲貞次氏（秋葉一）六十四歳・無職

藤田禮子さん（山谷町一）五十八歳・無職

終末処理場を建設

三興野地区の減圧も解消

●特別会計予算

＜公共下水道事業＞たん水や浸水をなくして、快適な市民生活を急ぐための下水道会計予算には、六億二千二百三十五万九千円が見込まれました。

主な事業費としては、管路工事やヒューム管を購入する費用などの管きょ事業に二億六千五百二十五万五千円、沈砂池（二池）やポンプ室などを建設する終末処理場事業費に二億九千七百万円が計画されました。

＜国保特別会計＞では、歳入歳出とも五億七千二百十三万七千円が見込まれました。

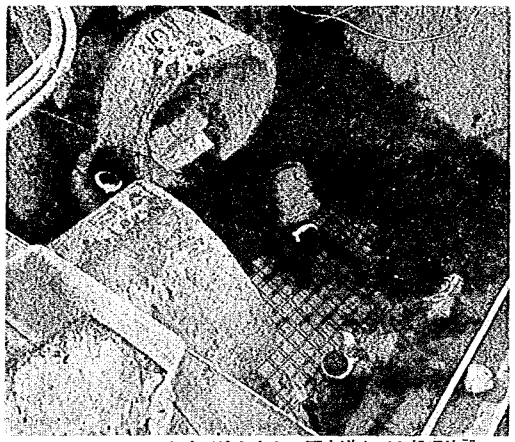
これは、前年度同期と比べると一億三千七百九十七万二千円の増額となりました。

国保会計は、九〇%も予算に占める保険給付費が主なものです。このうちには、別掲にお知らせしてあるように、この四月から実施した高額療養費の給付や、助産費、葬祭費の給付額の引き上げなどの費用も含まれており、保険医療をささえる大きな役割りをになっています。

＜水道事業特別会計＞では、水道料収入などの収益的収入が三億二千八十九万円で、これに伴う支出は、三億七百六十二万七千円、収支の差引き三百二十六万三千円の利益が見込まれました。

また、施設を整備したりするため、借入金などで建設改良を行なう資本的収入は、一億五千七百万円、支出では一億九千九百万円とされました。

この資本的収支の支出では浄水場の設備の近代化と、三興野地区の減圧解消のための配管工事が主なものとなりました。



快適な市民生活になくてはならない下水道やゴミ処理施設
これらの生活関連施設の整備はどんどんすすめられます

市道舗装・消雪施設・防火水そう――

生活（税外）負担を解消

学校図書費も補助

火葬料は無料に

市では、市民のみなさんの支出負担の軽減を、この四月からさらに進めることになりました。

今議会では、市民のみなさんの生活負担を少しでも軽くするため、新しく――

○…市道舗装、消雪施設、防火水そう――などの地域（地元）住民負担をなくすること

○…小・中学生をもつ父兄の負担を少しでも軽くすること

○…火葬場の使用料と、し尿汲み取り業者が処理場に投入する手数料を廃止して、無料とすること。

――など、条例の一部改正案や、これらに必要な経費を見込んだ予算案が認められました。

市道舗装、消雪施設、防火水そうなどの建設事業には、これまでその地域あるいは地元市民のみなさんから工事費のいくらかを負担願っていたもので、これによってかかる工事の市民負担は、解消されることになりました。

小・中学生をもつ親の負担解消は、小・中学生の学校図書費を、市がかわって負担しようというもので、このほか小学校でのいろいろな行事の経費から、中学校の各種競技会に参加する子どもたちの旅費なども補助されます。

また、火葬場の使用料も市内の居住者に限ってすべて無料化され、目に見えない市民本位のまちづくりも、大きく前進することになりました。

高額な療養費用は国保で補助

国民健康保険条例が一部改正されて、療養費の支出が大きい人には、その費用の一部を国保でまかなってやる「高額療養制度」が新たに設けられ、この四月からの実施が決まりました。（五頁を見てください）

また、被保険者が出産したときに支給する助産費を、今までの一万円から二万円に、葬祭費を三千円から五千円にとそれぞれ引き上げられました。

消防団員の報酬引上げられました

条例が一部改正されて、消防団員の報酬が、次のようにアップしました。

（報酬額はいずれも年額）

▽団長…二万円　▽副団長…一万円三千円　▽分団長…九千円　▽副分団長…六千円　▽部長…四千五百円　▽班長…三千円　▽機関員…三千円　▽団員…二千三百円

表具
鈴木一心堂
一級技能士 訓練指導員
法定防火壁装工事店 建設業登録店
本町3☎2-2035

ロマンスのヒロイン
資生堂ビューティケーク
本町2丁目 マツヤ TEL(2)0418
第四銀行が向い。北越銀行がとなり

委細でん談
世の中混みあっています……
心をつなぐ 新津電報電話局